

ふくしま

(題字：福島中学校3年 後藤 茉奈 さん)

第127号

令和2年8月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

TEL 0139-47-2215

養殖昆布最盛期

写真提供：福島フォトサークル



ふくしま ふくしま ふくしま ふくしま

福島中学校3年 滝谷 壱冴 さん

福島中学校3年 湊 由季 さん

福島中学校3年 工藤 尋斗 さん

福島中学校3年 村上 桃華 さん

- 定例会 6 月会議
- 定例会 7 月会議
- 一般質問
- 会議等出席状況

P 2
P 5
P 7
P 13

- 文書質問
- 議会改革度調査結果
- 常任委員会レポート
- 町民の声

P 3
P 5
P 9
P 14

- 定例会 5 月会議
- 各議案の審議結果
- 連合審査会レポート
- 議員の雑感

P 4
P 6
P 12
P 14

定例会6月会議

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金事業費を補正

定例会6月会議は、6月22日に開会されました。

会議では、条例の一部改正、補正予算、財産の取得、工事請負契約の締結など町長提出の6件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議会提案の意見書5件を可決し、一般質問では、4名の議員が、4項目について、町の対応や考え方をいただきました。参画者は2名でした。

条例の一部改正

○手数料徴収条例の一部改正

個人番号の通知カードが廃止されたことに伴い、再交付手数料条文を削除する改正。

計画の変更

○第5次総合計画の変更

新型コロナウイルス感染症対応等による事業の変更に伴う一部変更。

後期実施計画の総事業費は、50億1,590万円。

○過疎地域自立促進市町村計画の変更

新年度予算編成等に伴う事業の追加等。

- ・両記念館長寿命化調査事業
- ・チャレンジスピリット応援事業
- ・町道本町大通り線地すべり対策事業
- ・国民健康保険診療所往診車両購入事業

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第3号)

8,469万7千円を追加し、総額42億3,481万9千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

○保育所費

107万円の追加

○町道月崎2号線局部改良事業費

1,270万円の追加

○町道日向団地6号線整備事業費

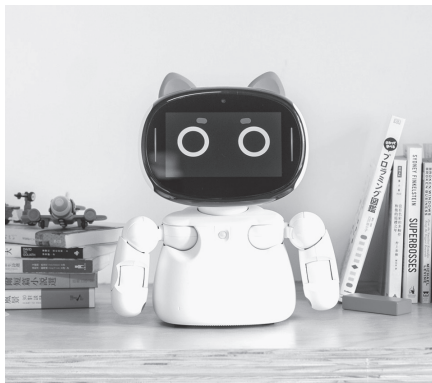
2,740万円の追加

○学習支援及び遠隔授業環境整備事業費

909万円の追加

工事請負契約の締結

議会の議決を要する工事請負契約の内容は左記のとおりです。



保育所や学童保育に導入されるAIロボットのイメージ

区 分	内 容
目 的	美山浄水場前処理施設整備工事
方 法	指名競争入札
金 額	155,650,000円
相手方	松前郡福島町 石岡・金澤・小鹿特定建設 工事共同企業体 代表者 株式会社 石岡組 代表取締役 石岡 眞

区 分	内 容
目 的	丸山団地町営住宅(R2棟) 建築主体工事
方 法	指名競争入札
金 額	87,450,000円
相手方	松前郡福島町 インテリア小笠原・北村経 常建設共同企業体 代表者 有限会社 北村建設 代表取締役 北村 陽一

議会提出の意見書

意見書5件を可決し、関係機関に送付しました。

○地方財政の充実・強化を求める意見書

国の令和3年度予算に向けて地方財政への更なる充実を求める意見書。



議案説明をする川村委員長

○教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担

制度堅持・負担率 $\frac{1}{2}$ への還元、教職員の超勤・多忙化解消の実現に向けた意見書
教職員多忙化や家計への負担を軽減するため、国の教育予算の充実を求める意見書。

○日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

核兵器全面禁止のために、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを求める意見書。

○新型コロナウイルス対策にかかる地方財政の充実・強化を求める意見書

新型コロナウイルス対策にかかる地方財政の充実・強化を求める意見書。

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を求める意見書。



議案説明をする藤山副委員長

※意見書本文は、議会ホームページに「議会提出議案」として掲載しております。

文書質問

質問者：川村明雄議員

人見坂上部の降雨時に小川となる個所の改善策を

【質問】

人見坂から、国道方向に落ちている水系ですが、小沢となっている個所の右側はU字溝が設置されておりますが、左側は無いため、降雨時のたびに土砂も流れる状況にあり、付近住民は危険を感じております。

治山工事などで対応できないか、お伺いします。



人見坂下部の水路

【回答】危険性はないが、経過を見ながら対応する

当該箇所は、平成11年度小規模治山工事により、水路等の整備が行われております。

6月9日に現地水路の確認と町道に接触する部分を地域住民立ち合いのうえ確認しました。

水路については一部破損しているものの土砂による閉塞は確認できず、危険性はないものと思われます。

また、町道との接触部分については、水路からオーバーフローしたことは数十年前に一度あっただけとのことですが、台風等の降雨時は見回りを行っていきます。

今後、経過を見ながら、町内会からの要望などがあった場合対応していきます。

定例会5月会議

新型コロナウイルス対策費

4億4,077万9千円補正

定例会5月会議は、5月14日に開会されました。会議では、条例の一部改正、補正予算など町長提出の5件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

条例の一部改正(4件)

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、引用条項等の整備について一部改正。

○町税条例の一部改正

地方税法等の改正に伴い、個人町民税、固定資産税、たばこ税等の見直しや、新型コロナウイルス関連の特例措置等について改正。

○国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の改正に伴い、課税限度額、低所得者の軽減拡充について改正。

○介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令等の施行に伴い、低所得者の保険料率軽減や、新型コロナウイルスに伴う保険料の減免について改正。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第2号)

4億4,077万9千円を追加し、総額41億5,012万2千円となりました。新型コロナウイルス対策の主な内容は、次のとおりです。

○特別定額給付金給付事業費

4億445万円の追加

国の緊急経済対策による町民1人当たり一律に10万円支給する事業費を追加。

○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費

592万円の追加

国の緊急経済対策による児童手当対象児童へ1万円支給する事業費を追加。

○地域経済緊急支援事業費

3,000万円の追加

町独自の地域経済対策として、全町民1人当たり5千円の地域商品券配布や、休業要請等に伴い収入が減った事業者に対する助成金を追加。



全町民に配布された地域商品券

定例会7月会議

国の第2次補正に伴う予算を議決！

定例会7月会議は、7月9日に開会されました。会議では、一般会計ほか1会計の補正予算の町長提出の2件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参画者は1名でした。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第4号)

1億4,119万円を追加し、総額43億7,600万9千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

○新しい生活様式への移行準備用備蓄品配布事業費

1,893万3千円の追加

○町内事業者向け新しい生活様式準備支援事業費

2,044万9千円の追加

○福島町元気プロジェクト事業費

1,200万円の追加

元気プロジェクトで岩部クルーズ利用者へプレゼントされた特産品セットとアワビカレー（見本）



■水道事業会計補正予算

(第1号)

954万9千円を追加し、総額3億2,268万5千円となりました。

議会改革度調査2019 全国1位 情報共有ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所（顧問：北川正恭早大名誉教授）が行う議会改革度ランキング2019において、福島町議会が「情報共有ランキング」部門で全国1位の評価を受けました。

【研究所報道発表文】

「福島町議会の特徴」

・議会として、議員個々の政策や、実現状況の自己評価を積極的に住民へ提供しています。これは、議員活動を評価できる情報を提供するとした福島町議会基本条例に沿った議会活動そのものです。

・議会・議員の政策立案機能の重要性が増していること、さらには議員選挙における投票率、無投票、なり手不足が問題とされていることから、議会組織としての発信は評価すべき点です。

「全体傾向」

・情報共有分野では、事務局職員数や議会費の大きい議会など人的・財政的に力がある議会が有利と思われる中、北海道の町議会によるワンツーフィニッシュという結果でした。

・今回設問の大幅見直しにより、議会情報の公開をどれだけ進めたかという「量的な公開度合い」を評価する以外にも、住民と共有する情報の「質」や情報を得ることが出来る「時間」を重要な要素として、調査の設問に落とし込んでいます。ここでは、「本会議・委員会の記録物」といった過去の情報を量的に充実させるだけでなく、議員が議会の中で得ている情報と同じように住民も情報が得られるかが重要となっています。

各議案の審議結果



5月会議採決の様子

- ・賛成○、反対×、病欠△と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案名	花田 勇	佐藤 孝男	平沼 昌平	木村 隆	川村 明雄	杉村 志朗	藤山 大	小鹿 昭義	平野 隆雄	審査結果
5月会議 (5/14)	5	固定資産評価審査委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	6	町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	令和2年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月会議 (6/22)	10	手数料徴収条例の一部改正	○	△	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	11	第5次総合計画の変更	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	12	過疎地域自立促進市町村計画の変更	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	13	令和2年度一般会計補正予算（第3号）	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	14	丸山団地町営住宅（R2棟）建築主体工事請負契約の締結	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	15	美山浄水場前処理施設整備工事請負契約の締結	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	発委1	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	発委2	教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消の実現に向けた意見書の提出	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	発委3	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の提出	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	発委4	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	発委5	新型コロナウイルス対策にかかる地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
7月会議 (7/9)	16	令和2年度一般会計補正予算（第4号）	○	△	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	17	令和2年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	△	○	○	○	○	○	○	○	

一般質問

4名の議員から4問の一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

伝統文化を未来に残す政策を 保存会と連携し後継者の育成に努める

【藤山 大議員】

地域に残る個性豊かな伝統文化は、次世代に継承していくべき共通の財産であり、時代の影響を受けて、変化・消滅する可能性がある伝統文化・お祭り等を継承・発展させるためには、その現状や歴史、特色等を十分把握し、協力する伝承者や支援者、後継者の確保・育成に努めることが必要である。

演技指導者・後継者（未来を担う児童生徒等）の確保、後世に残すための保存資料（DVD…観賞用と演技指導用）の状況を伺います。



藤山 大議員

【小野寺則之教育長】

伝統文化の中でも、松前神楽・福島大神宮祭礼行列・白符荒馬踊りを町無形民俗文化財に指定しており、松前神楽は国の重要無形民俗文化財にも指定されている。

町では3つの団体保存会に対し、保存・運営のために必要な費用の補助や定期的な公演開催などの支援を行っている。

四ヶ散米行列・奴行列は途絶えていた時期があったが、平成6年以降若い町民の方などを中心に演技の研修などを行い、公開が図られてきた。しかし、近年人口減少とともに参加者が少なくなってきたおり、演技者募集等を町広報でPRするなど、各保存会と連携し、後継者の育成に努めてまいります。

企業誘致条例とチャレンジ条例の統一は 制度の性質から統一の必要はない

【小鹿昭義議員】

チャレンジスピリット応援条例は、起業家や事業承継者の後押しをするものだが、利用状況はどうか？

企業誘致条例は投下固定資産額の開設等（町外事業者3千万円以上、町内事業者1千5百万円以上）を対象とするものだが、応援条例と誘致条例の整合性を図り、一つにして町外事業者へのハードルを下げてはどうか？

既存誘致企業の雇用状況把握や今後の協力体制、新たな企業の誘致活動の姿勢について伺いたい。



小鹿 昭義 議員

【鳴海清春町長】

応援条例については、漁業者3名・内装業者1名から事前相談を受けている。

応援条例は町内での起業家や事業承継者の、新たな事業への挑戦を応援する目的で、施設の新設・増設・備品などの購入助成であるのに対し、誘致条例は、用地・建物等の斡旋や奨励金交付等の助成措置を行うもので、目的・対象・助成内容が異なり、条例を統一する必要はない。

企業誘致条例施行後、指定された事業者は5社で、現在も2社が事業継続しており、従業員数は38人、社会保険等の加入者数は34人である。地勢面等で不利な面もあることから、これまで、積極的な誘致は行っておらず、今後も地元企業雇用等促進条例等で事業継続に協力していく。

一般質問

新型コロナウイルスの影響・対策は

対策に万全を期し影響を最小限に抑えたい

【木村 隆議員】

次の点について伺う。

- ① 文科省通知では「複数年教育課程編成可」「授業時間の20%程度の補習・家庭学習可」だが、当町の方針は？
- ② 夏休み短縮はあるか？
- ③ 学校祭・修学旅行の実施見込みや高校の海外修学旅行に係る情報収集状況
- ④ 部活において、今後3年生出場の大会等は？
- ⑤ 福島学ジュニア等の事業実施、プール授業の見込み
- ⑥ 感染した場合の生徒の心のサポート等



木村 隆 議員

【小野寺則之教育長】

- ① 行事の見直し・工夫により年度内で教育課程を修了
- ② 25日間を16日間に短縮
- ③ 学校祭・学習発表会は工夫しながら実施、修学旅行は小学校10月・中学校3月で計画、宿泊研修は日帰りとする予定、高校海外見学旅行は国内に切り替え予定
- ④ 陸上は8・10月の記録会、バスケットは11月函館・渡島・檜山交流大会、野球は7月函館地区大会、吹奏楽は秋に渡島管内規模演奏会を予定
- ⑤ 教育事業は2学期から実施方法を工夫し実施、プール授業は利用人数制限し実施
- ⑥ 学級担任や養護教諭など学校全体で児童生徒をきめ細かく観察し、いじめ等を未然防止、スクールカウンセラーの派遣要請など対応に万全を期する。

新型コロナウイルスに対する当町の今後の取り組みは

新たな助成制度創設や危機意識の共有を図りたい

【平沼昌平議員】

全国の「緊急事態宣言」が5月28日で解除され、第3波対応を考える必要がある。

当町に感染者が出て、小さな連鎖が続くと想定した場合、病院や介護施設、在宅介護事業等を含めて感染症対策を再構築しなければならぬ。観光施設の接客対応にも検温やフェースカバー等の必要性を感じる。教育現場や免疫力の弱い方々の施設、医療関係者に対して備品の確保などを明確に周知し、補助対応の検討をしては如何か。



平沼 昌平 議員

【鳴海青春町長】

当町に感染者が出た場合、作成済みの「新型コロナウイルス等対策行動計画」に基づき対応する。

現時点の新型コロナウイルス感染症対応は、町民で疑いのある方がPCR検査をした場合、渡島振興局長から私に直接電話が入る。初動から渡島保健所や感染症指定医療機関などと関係機関との連携管理となる。感染経路聞き取り調査などの基本的なことは保健所が行う。

これまで町民の感染予防対策と経済対策に力点を置いて施策を講じて来たが、国の動向を見極めながら新たな生活スタイルを確立するために必要な支援として、新たな助成制度を構築し、危機意識の共有を図っていきたい。

アワビ陸上養殖事業の進捗状況と今後の見込みについて

【調査概要】 令和2年6月8日開催

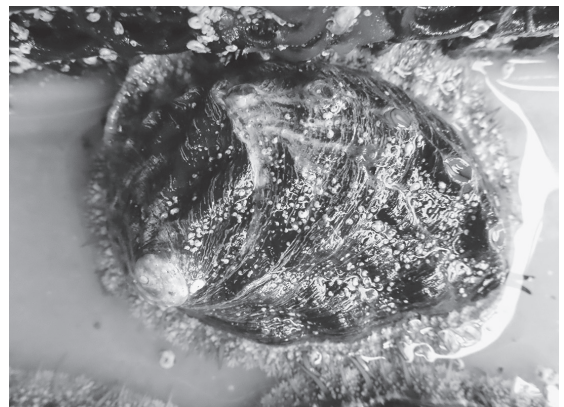
水産業の新たな可能性と企業化を目指した「蝦夷アワビブランド化事業」は、平成29年度に整備した「陸上養殖施設」を拠点に進めていますが、事業開始直後の取水不具合による養殖稚貝の大量へい死やマーケティング事業の遅れなどから、当初目標にしていた令和元年度企業化の予定がずれ込んでおりますので、調査しました。

【論点と意見】

企業化確立のため、販売戦略の検討を鋭意進められたい！

1 飲食店等の販売サイズ大型化の要望対応について

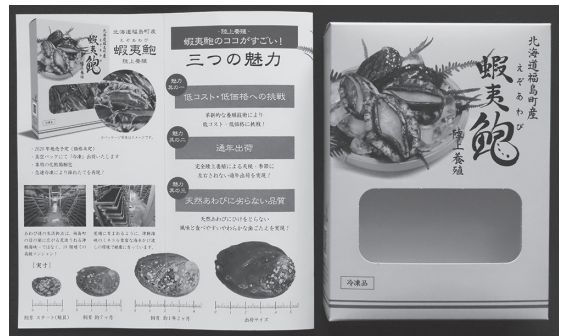
養殖アワビの販売サイズは55mmを基本としているが、飲食店等消費者からの大型アワビの需要等に柔軟に対応できるよう、試験用として養殖している70mm超サイズを、飼育槽の個体数調整等により販売実現する方策を検討されたい。



販売サイズになった養殖アワビ

2 冷凍アワビの販売単価について

一般的には活販売よりも冷凍販売の方が、安く単価設定されるが、資料では割高な単価設定になっており、瞬間冷凍・真空パック・化粧箱詰めが冷凍販売の割高の要因としているが、具体的な積算根拠が明確に示されていないので、利益を含む卸売価格の設定の再検討を強く望む。



養殖アワビパンフレットと販売用化粧箱

3 販売計画、成長データの整理・活用について

提示された販売計画は、現在、取得・整理しているデータをもとに、今できることを優先する計画であり、データについては、今後、さらに整理することであるが、市場に対応できる価格設定、養殖期間の短縮等、事業実施の課題解決に重要となる季節毎の海水温別成長データ等の精査・分析を、さらに進められたい。

4 総括的意見について

提示された収支計画は、全てのあわび個体が、2年間（24か月）で販売サイズ（55mm）に成長するとの前提で積算されているが、試験効果から、1年半（18か月）から販売が可能となっており、試験データによる綿密な積算を示し、今後に臨むことが重要であると思慮する。

収支計画の収入では、年間販売数は60,000個、うち活販売44,500個、箱入り冷凍販売15,500個とのことであるが、具体的な販売経路や方法が明確にされておらず、ふるさと納税を含む販売戦略の検討を鋭意進められたい。

種苗生産等施設整備事業について

【論点と意見】

【調査概要】 令和2年6月8日開催

町内に点在している水産業種苗生産施設は、建設後の経年劣化等により維持管理費が相当かさんでいます。町は、今後の前浜資源の安定生産と、施設管理の効率化・コスト削減を目的とした施設集約の基本構想策定業務を発注したので、調査しました。

計画水量の確実な取水と、これに係るコスト圧縮を！

1 施設集約に係る町の基本的構想等について

漁業協同組合とともに検証したアワビ中間育成施設や昆布養殖施設、ウニ種苗育成センターの現況・課題・維持管理費削減等の考え方を受託業者にしっかり伝え、地域の実情や考え方を把握した中で策定作業が進められることを強く望む。現ウニ種苗センターの有効活用も検討されたい。



ウニ種苗育成センター内部の様子

2 施設の集約場所について

種苗生産施設を整備する場合の最重要課題は、「海水の取水と、これに係る経費の圧縮」である。三施設の集約場所については、海岸線に集約施設規模に対応できる町有地を有する場所が理想的であると思慮する。適地としては、宮歌のアワビ中間育成施設付近での改修、若しくは新設が有力候補との説明であったが、「アワビ陸上養殖施設」に付随した遊休地についても、管理の共有化等の可能性が期待できるので、トータル的に比較検討し判断されることを強く望む。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業について

【論点と意見】

【調査概要】 令和2年6月8日開催

新型コロナウイルス感染症対策に係る町の対応は、飲食店応援商品券発行補助・全町民への商品券配布、また、経営持続化助成金など町独自の対策をいち早く進めてきましたが、今後の対策も含め調査しました。

農・漁業者対策と、今後のさらなる予防対策・経済支援対策を！

1 農業者・漁業者への対策について

農業や漁業関係者等、休業補償の対象とならなかった職種についても、コロナ感染症の影響を受け、農産物や漁獲物等の消費が進まず、活動に大きな支障をきたしている。国の第2次補正後に検討される町の独自対策においては、これら農・漁業者等を含む全般的な経済対策の検討を強く望む。

2 福島町に感染者が出た場合の対応について

現状では、福島町は感染者が出ていないが、感染者が出た場合、町内医療機関・福祉施設の状況把握、町のバックアップ、関係機関との連携など、時間を置かず対応しなければならない。

このため感染者が出たと想定した、現在の町コロナ対策本部の体制検討、医師との連携、福祉施設との感染予防対策の確認、予防対策備蓄品の確保等を積極的に進め、業種を問わず町全体がコロナ感染対策に対する危機感と共通認識を持つことが肝要であり、緩みがちな意識の醸成を図ることを強く望む。

デマンドバス利用料等の見直しについて

【論点と意見】

【調査概要】 令和2年6月16日開催

当委員会では、昨年5月20日開催の調査で、「利用料金値下げに関する意見書」を町に送付しました。町はこれを受け、昨年度「利用料金の見直し」を議題に、地域公共交通確保維持改善協議会を2回開催したので、調査しました。

委員会意見は、賛成・反対の両論併記！

1 料金値下げ検討に係る関係資料について

町が示した料金値下げ（案）は、同一日に2回以上デマンドバスを利用する場合、2回目以降の料金を値下げするという往復割引導入であったが、内容検証に係る算定根拠、民間事業者に及ぼす影響等を検討する関係資料の提出がなかった。今後の調査等においては、関係資料の提出を強く求める。



乗車予約者を待つデマンドバス

2 総括的意見について

往復割引導入（案）に関する当委員会の意見は、次のとおり両論併記とする。

- (1) 反対意見～当委員会意見の趣旨を配慮した折衷案とはいえ、1回目の割引が無ければ利用者の「料金が低い」というイメージは払拭されない。協議会で再検討すべきである。
- (2) 賛成意見～町の考え方は理解する。この案で、申請を行い新たな事業年度に対応されたい。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業について

【論点と意見】

【調査概要】 令和2年6月16日開催

新型コロナウイルス感染症対策に係る町の対応は、飲食店応援商品券発行補助・全町民への商品券配布、また、経営持続化助成金など町独自の対策をいち早く進めてきましたが、今後の対策も含め調査しました。

町民の士気向上策として花火大会を！

1 町民の士気向上策について

半年にわたる新型コロナ感染症に対する町民の戦いは、今も続いており、産業をはじめとする経済界の閉塞感、臨時休校・夏祭り等中止による町民ストレスの高まりなど、町内活力はかなり低下していると思慮する。

今後、町は、第3弾・第4弾の経済対策等を検討・実施すると期待されているが、町民の沈んだ気持ちを楽しく変えることができるよう、夏の一夜、出稼ぎ者の慰労と帰省者の歓迎の意味等も込めて、「花火打ち上げ」の期待の声が寄せられている。花火会場の変更や時間短縮、遠い場所からでも楽しめる高く上がる花火など、「三密」を防ぐ対策をしながら、町民の心のケア、町民士気向上策として検討されたい。

2 インターネット環境がない家庭へのモバイルルーター貸与方法等について

モバイルルーターの貸与については、今後、学校が臨時休業した場合に、インターネット環境が無い家庭への遠隔授業のためのツールとのことであるが、Wi-Fi環境や、モバイルルーター等を自費購入した家庭との問題、タブレット利用は教諭作成の資料活用が中心で、インターネット環境不要などを考慮のうえ、次年度以降の活用方法、貸与方法を十分検討されたい。

国の第2次補正に伴う新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金対象事業について

【調査概要】 令和2年6月29日開催

町の新型コロナウイルス感染症に係る「国の第1次補正」対応の地方創生臨時交付金事業については、定例会6月会議までに予算を補正し実施してきましたが、このたび、町より「国の第2次補正」対応分の交付金対象事業（案）が示されたので、調査しました。

【論点と意見】

町民・事業者の説明・啓発し、関係機関との連携強化を！

1 今回提示された臨時交付金対象事業について

今回提示された12事業については、概ね妥当であることを確認したが、次の点については、事業内容等を検討されたい。

- (1) 町内事業者向け「新しい生活様式」準備支援事業については、一律1社10万円の交付で、計画・実績を求めないとの説明であったが、少なくとも町として、どのような「感染症拡大防止対策」等を求めるのかを示す必要がある。
- (2) 一般町民等に向けた「新しい生活様式」については、備蓄品等の配付が計上されているが、今後も想定される感染症対策として、予防の徹底（手洗い・消毒・マスク等）を継続することが最も重要であり、計画されているゴミ袋の啓発ロゴプリントに加え、防災無線やチラシ・広報等での啓発を盛り込むべきである。なお、手洗いについては、ぬるま湯が推奨されており、利用できない施設（福島中学校等）の早期整備を望む。



教室内に設置している電気温水器
(福島小学校)

2 今後検討する臨時交付金対象事業等について

今回提示された事業は、国の第2次補正に対応した町の第1弾であり、今後の事業計画作成にあたり、次の点を考慮されたい。

- (1) 特に濃密な接触を要する医療機関・介護事業所等は、これまでにない対策費をかけて運営をし、今後想定される第3波・第4波に向けて新たな対策も余儀なくされる可能性があるもので、しっかり状況を把握したうえで支援していくべきと思慮する。

また、第3波・第4波の予防や当町からの感染者を想定し、医療関係者・高齢者福祉事業者・保健所などの関係機関が共通認識を持つ必要があり、課題について協議する会議を設定し、対処方針を作成、町民へ周知徹底されることを強く望む。



◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の6月から7月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	花 田	佐 藤	平 沼	木 村	川 村	杉 村	藤 山	小 鹿	平 野	溝 部
6月8日	経済福祉常任委員会（アワビ陸上養殖、種苗生産施設、新型コロナ臨時特例交付金）	―	○	○	―	◎	―	○	○	○	○
11	一般質問通告	―	―	○	○	―	―	○	○	―	職
	議会運営委員会（定例会6月会議運営）	○	△	○	―	○	―	―	○	職	職
	経済福祉常任委員会意見書手交	―	△	―	―	―	―	○	―	○	○
15	定例会6月会議勉強会	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
16	総務教育常任委員会（デマンドバス、新型コロナ臨時特例交付金）	○	―	―	○	○	○	―	―	○	○
18	総務教育常任委員会意見書手交	―	―	―	―	○	―	―	―	○	○
22	定例会6月会議	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会6月会議反省事項）	○	△	○	―	○	―	―	○	職	職
25	定例会6月会議反省事項（議運）の手交	―	―	○	―	―	―	―	―	○	○
	福島町まちづくり工房令和2年度社員総会	○	―	―	―	―	―	―	―	―	○
29	総務教育常任委員会・経済福祉常任委員会連合審査会	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
7月2日	総務教育常任委員会・経済福祉常任委員会連合審査会意見書手交	―	―	―	―	○	―	―	―	○	○
8	渡島西部広域事務組合第3回臨時会	―	△	―	―	―	○	―	―	―	○
9	議会運営委員会（定例会7月会議運営）	○	△	○	―	○	―	―	○	職	職
	定例会7月会議	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会7月会議反省事項）	○	△	○	―	○	―	―	○	職	職
17	議会運営委員会（議会だより編集）	○	△	○	―	○	―	―	○	職	職
20	総務教育常任委員会（学校給食）	○	―	―	○	○	○	―	―	○	○



平成25年度以来の開催となった連合審査会

町民の声

福島遺産



福島中学校教頭
宮川 高宏さん

大学時代から文学仲間達で年一回、道内外の登山や仏閣巡り、時には秘境探検などを続けている。昔の作家が訪れた場所なども探訪しており、一昨年は「北海道150年」で松浦武四郎の縁のある道南の場所を様々巡った。

昨夏、武四郎も通ったと知り「殿様街道」トレッキング、さらに骨の折れる登山と聞き「丸山神社」登山を丸一日かけて行った。中でも旧松前線の廃坑トンネルや丸山山頂の社（やしろ）の建造物を見て、先人の気概や苦勞を感じた。

今春、その福島町に異動し、中学校に勤務している。町には岩部・千軒・吉岡等、「福島遺産」とも呼べるような魅力的な地域・自然がいっぱいだ。生徒たちを、先人のような心身ともに強い人間に育てたい。そして豊かな自然と歴史を持つ、この郷土を愛する人間に育てたい。

議員の雑感

戦後75年を迎えて



総務教育常任委員
木村 隆

祖父は戦時中、国民徴用令により群馬県の軍需工場に動員された。その後、陸軍第七師団に徴兵され、南樺太に行った後、本土決戦の準備をしていた帯広で終戦を迎えた。ところが数年経っても吉岡に帰って来ないので、母（曾祖母）が帯広に行き連れ戻してきた。祖父は都会志向だったので、本当は帰りたくなかったと思う。しかし海軍に徴兵された祖父の弟は、山口県に行き沖縄戦に向かう艦船（海軍軍艦）に乗り玉碎。19年の人生を終えた。沖縄戦の兵士で最も多い戦死者を出したのは、桁違いに北海道出身者である。開拓地の人間の命が安く扱われたのだろうか。今年、町主催の戦没者追悼式は中止となったが、お墓参りに行って哀悼の意を捧げたい。

議会の主な会議・行事予定

※変更・追加となる場合もあります。

8月3日(月)	議会基本条例諮問会議	午後3時～	委員会室
9月8日(火)	一般質問通告	午前10時～午後2時	
	議会運営委員会	午後3時～	委員会室
	・定例会9月会議の運営ほか		
10日(木)	9月会議勉強会	午後1時30分～	議員控室
16日(水)	定例会9月会議	午前10時～	議会議場
	決算審査特別委員会（令和元年度決算・事務事業評価）		
10月5日(月)	議会基本条例諮問会議	午後3時～	委員会室
11月2日(月)	議会基本条例諮問会議答申書手交		

編集後記



本来であれば今頃は日本中が東京オリンピックに熱中している時期ですが、全世界に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症により、1年延期となつてしまいました。

全国的に緊急事態宣言、都道府県間の往來の自粛要請が解除となりましたが、感染症の完全鎮圧とはならず、手洗い・うがい・消毒を徹底しながらの自粛ムードが続いております。

子どもたちの短い夏休みも始まり、久しぶりに帰省してくる皆さんと一緒に賑やかな笑顔いっぱいのお盆になることを願っております。

次回（令和2年12月1日発行）は、定例会9月会議・決算審査特別委員会を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」